



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458

議会事務局 TEL0470-55-4804

第123号

将来を担う子ども達のパワー



9月9日に行われた鋸南中運動会での男子の演技「エッサッサ」の1シーン！
炎天下、全校生徒が一丸となって素晴らしい競技や応援が繰り広げられました。

はやわかい

- 水道水源保護条例の制定・・・2
- 一般質問 5議員が町政を問う・・・4
- 決算審査特別委員会・・・8
- 議会活動トピックス・・・10

知っていますか

議会の傍聴はどなたでもできます。

次の議会定例会は12月です。

傍聴手続きは当日議場受付で住所・氏名・年齢を書くだけです。日程は、広報無線・町のホームページ等でお知らせします。

新規制定

鋸南町

水道水源保護条例制定

平成29年10月1日から施行

9月
定例議会

9月定例議会は、会期を9月4日から15日までの12日間として開催した。定例会には、条例の制定及び一部改正各1件のほか補正予算、決算認定、工事契約、指定管理者等の決議案に3件の報告を合わせた15件が上程され、すべてを全員賛成で可決認定した。

また、一般質問には、笹生（久）・青木・鈴木・三国・緒方の5議員が質問席に立った。

新規条例を

全会一致で可決

町営水道は、雨水等を集水するダムを水源としているため、自然環境や周辺環境の影響を受けやすい状況にある。この貴重な水源から作られる水道水の安全や安定した供給を確保することは必要不可欠であることから、条例案が上程され、全会一致で可決した。

この条例は、町営水道に係る水源の枯渇及び水質の汚染を防止し、町民の生命及び健康を守ることを目的とするもの。

条例では、原水を取水している鋸山ダム・元名ダム

の水源地在「水源保護区域」として指定された。これにより区域内に水源の枯渇や水質汚染の恐れのある施設、または緑の水がめともいえる水源涵養（かんよう）林の伐採を伴う施設を設置しようとする事業者に対し、町が指導・助言・規制することが可能となった。

更に事前に町との協議を行うこと、関係住民に対して説明会を開催し、施設の安全性について町及び住民の理解を得ることも義務づけられた。

指導・勧告に従わない事業者は氏名などが公表される。今後、町では、罰則規定の制定についても検討していく予定。

可決された

主な議案

指定管理者の指定 2件

町施設の運営を民間委託する指定管理者制度。今年度末、1期5年の期限を迎える2施設について、平成



貯水量15万トンの鋸山ダム

工事請負契約 2件

町が、5千万円以上の請負工事契約を締結する場合、議会の議決が必要となる。

①鋸南幼稚園建設工事

3億3千912万円

白幡興業株

②笑楽の湯機能アップ整備

工事 5千680万8千円

東海建設(株)鋸南支店



一般会計補正予算

～ 歳入歳出それぞれ9,451万1千円を追加 ～

補正後の総額は42億3,985万円に

一般会計

今定例会には、一般会計、介護保険特別会計、水道事業会計の3補正予算が上程され、全員賛成で可決した。一般、介護両会計の歳入では、28年度決算が確定したことにより、繰越金を増額。歳出では、人件費の補正を中心に不足が見込まれる各種事業、急を要する修繕等の経費が計上された。また水道事業会計でも、送水施設の老朽化による緊急性の高い修理費用が増額された。

◆総務費

社会保障・税番号制度関連システム改修委託57万3千円を増額。これは、マイナンバーカード等に旧姓を併記できるようにするためのシステム改修費で、全額県の補助金。

◆衛生費

環境審議会委員報酬8万6千円を増額。今定例会で可決した鋸南町水道水源保護条例案作成にあたり、環境審議会の答申を出すための会議開催費用2回分を増額した。

◆商工費

保田海岸旧監視所解体工事で69万円を増額。監視所解体に際し、コンクリート処分量が当初見積りより増加したことから、その処分費と運搬費を増額した。

◆教育費

ALIT官舎備品30万3千円。8月の外国語教師助手の交代に伴い、新規ALIT受入のために官舎に備品を整備。

中学校体育館・武道場他修繕費94万3千円。中央公民館空調機ドレン配管・どん帳修繕138万2千円。

給食センター自動ドア・保管庫修繕57万円。

介護保険特別会計

歳入は、地域支援事業の交付見込額をもとに、国庫支出金223万3千円、支払基金交付金239万8千円、県支出金113万8千円等を増額。また28年度決算額が確定したため繰越金3千760万円を増額した。

歳出では、前年度事業の精算により過大となった国・県・支払基金への償還金1千813万5千円。同様に町への繰出金511万1千円が計上された。

水道事業会計

大六地区加圧所の加圧ポンプ2台のうち1台が老朽化により水道事業費100万円を増額した。



解体予定の保田海岸の監視所

各会計における補正の状況

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	41億4,533万9千円	9,451万1千円	42億3,985万円
介護保険特別会計	12億3,952万9千円	4,419万3千円	12億8,372万2千円
水道事業会計	4億7,287万9千円	100万円	4億7,387万9千円

※水道事業会計については、収益的支出の水道事業費の額

ここが聞きたい

いっぱん質問



あなたの声を町政に

一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し質問や提案を行うものです。
紙面の都合上、概略のみ掲載しています。



みかえりちゃん

一般質問の制限時間は60分で
質問は何回してもいいのよ!!

町のホームページで
議会のライブ中継も
やっているよー



よりともくん

質問 町有地賃貸借の規定に基づき、町と企業が協定書を締結し14年間で経過した。当時の状況を知る町長以外、企業側代表及び立会人の保田漁業協同組合長、地元吉浜区長の3名が交代している現状から15年間の契約は長期で契約内容の形骸化が危惧されてきた。町としての考え方はどうか。

町長 契約書には「公害防止」のため最善の管理、発生時には適切な措置を講じることとなっており、「車両船舶使用者」に対して石材積み出し作業時間、運行時間、強風時の対応等、公害発生防止のため遵守事項を明記しています。また、臨時の石材運搬船を使用させる場合の運行に関する指導、規定違反があった場合の車両船舶の使用禁止等の処分と行政指導、更に協定を円滑に推進するための意見交換等を規定しており、同組合長及び吉浜区長が立会人となり、4者により協定内容を確認し、締結を証するとされています。

質問 協定書に規定されている強風時の積み込み作業は協議により中止する



笹生 久男 議員

吉浜埠頭の契約期間短縮と

協定内容の遵守を

ことになっているにもかかわらず、2度にわたり、積み出しが行われ出港した事実が確認された。現契約者はその事実を認め、町に始末書が提出されたが、今後どのように指導するのか。

町長 埠頭使用者には、管理監督を一層強化し再発防止に鋭意努めてもらうのはもちろん、町としては、確実な協定書内容の履行に注視します。平成30年8月に契約期間が満了となり、現行の契約書には、本契約の更新はできない旨の条項もあり、町として契約締結にあたり、協定内容を見直し、検討を進めていきたいと思います。

要望 是非非での検討をお願いする。



吉浜埠頭



青木 悦子 議員

ふるさと子どもアンケート等の

声を市政に

質問 町では、ふるさと子どもアンケートの結果や「鋸南町の未来〜こんな町になるといいな」の学習発表会を参観して、子ども達の思いをどのように受け止め、今後どのように施策に反映できると考えているか。

町長 子ども達の視点は、少子高齢化や人口減少、安心安全なまちづくりなど、現在、町が課題として取り組んでいることと一致しており、子ども達の考えに感心しています。アンケートでは「遊び場や公園を作って欲しい」という意見が多く見受けられましたが、鋸南町は自然が豊かで、学校の校庭も開放しているので決して遊び場が少ないとは思いません。子ども達は安心して仲間と集まれる居場所を求めているのではないかと考えます。

質問 町としては教育委員会だけではなく、各課が総合的な共通理解のもと町政に取り組むべきと考えるが、いかがか。

町長 子ども達からは「働く場所がたかくさんある町」「人口が増えてにぎやかな町」「住み続けたいくなる町」「高

齢者が元気でいられる町」などの意見がありました。これらの意見は我々の考えと一緒にあり、子ども達の思いを町の施策に反映できたらと思っております。

質問 近い将来を担う子ども達の声に伝えたり、反映させたりする施策を実施することが、子ども達の「鋸南町が好きだ、住みたい」につながると思えるかがか。

町長 教育委員会や小中学校等で町に對しての考え方を醸成できるような教育方針を立てるよう検討していきます。



鋸南の空に響いた子ども達の声



鈴木 辰也 議員

旧佐久間小整備の

全体構想を早急に

質問 旧佐久間小敷地内にバーベキュー場、トイレ等が整備されるが、その後、体育館、普通教室棟はどの様に整備していくのか。

総務企画課長 体育館は、耐震補強改修を計画しています。普通教室棟は、当面、現状維持を考えています。

質問 笑楽の湯を含めた一帯をどのように整備していくのか全体構想を示して欲しいが。

総務企画課長 旧佐久間小の施設及び笑楽の湯との連携を含めた将来図は、広域の避難場所、農業体験、地域の親交の場、祭りの拠点等、複合的な目的を考慮し、全体構想について検討していきます。

質問 菱川師宣記念館の入館者減の要因は。

教育課長 主な要因は、特別展と考えると。加えて、従来の人の流れが変わったことと推測しています。

質問 特別展によって入館者数の増減が左右されるのは不安定で、普段どれだけ人が入るか考えなければいけない。不特定多数の人に対してのAPIー

ルと道の駅きよなんにきた人に対するAPIーをどの様に考えているのか。

教育課長 インターネットを活用すること、師宣記念館の周りに表示物を増やすなどの対応を考えています。

質問 道の駅保田小に整備された加工所（みんなの家庭科室）は、今年度は共立メンテナンスが管理をし、きよなん（株）が運営を行う。今年度中に管理運営のノウハウを取得して、来年度からは、共立メンテナンスで行うとのことだが、きよなん（株）がこの施設の管理運営のノウハウを持っているということ、町で確認しているのか。

地域振興課長 きよなん（株）は、運営に關しては、非常にたけてっていると共立メンテナンスから聞いています。



バーベキュー場建設予定地



三国 幸次 議員

急激な天候変動への対応は 空振りをおそれず避難勧告等を

質問 国土交通省では、「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」との考えに立ち、社会全体でこれに備えるため、ハード・ソフト一体となった「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みを国管理河川を中心に進めている。鋸南町の急激な天候変動に対応する方法はどうか。

町長 平成27年度に「鋸南町地域防災計画」の見直しを行い、災害時の対応方針と各自がとるべき行動を明記した職員初動マニュアルを作成して、全職員に配布をしています。災害時において、被害の軽減、迅速かつ円滑な応急対策を実施する上では、配備の決定、災害対策本部の設置、職員の参集、情報の収集や初動期における対応が非常に重要であると考えたものです。

質問 これまでの対応についての改善や変更などの経緯はどうか。

町長 町としても人的被害や孤立者を減らすために、適時的確な避難勧告等の発令・伝達が重要であると認識をしており、空振りをおそれずに避難勧告等を発令することを基本とし、発令す



H25.10 台風26号 中佐久間大橋

る際は、とるべき避難行動がわかるよう繰り返し伝達することを徹底していきたいと考えています。また、必要に応じその他防災関係機関の協力を得て対策を速やかに実施するよう努めていきます。

質問 今後検討しなければならぬ課題としてどのようなことがあるか。

町長 当町においても、災害の発生を未然に防止するため防災気象情報の収集、早い段階からの危機意識の醸成や確実な防災情報伝達の徹底に取り組み、防災事務に従事する者の安全確保にも留意をした上で、職員の参集や適切な災害即応体制の確保を図っていきたいと考えています。



緒方 猛 議員

人口減少対策と 総合計画

質問 総合計画の最重点項目として人口減少・過疎脱却に平成13年（2001年）以降各種施策で取り組む計画となっている。しかし結果は昭和60年（平成12年）までの国勢調査で3〜5%減であったのが、平成27年には10.3%減と拡大し県下最大を継続している。これをどのように評価しているのか。

町長 平成28年度には後半5年間の後期計画に移行し、地域活性化や結婚相談、また、直近では「道の駅保田小」整備事業により集客能力の増加等、人口減少の抑制につながっていると考えています。

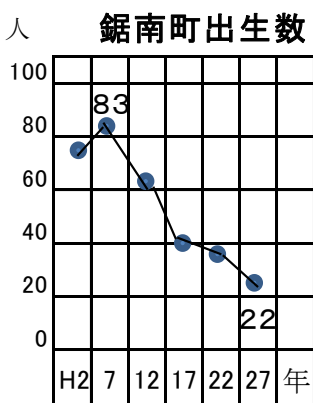
質問 人口減少の加速化を把握しているか。総務企画課長 人口の減少数・率とも年を追うごとに指摘のように大きくなっていると感じています。

質問 総合計画は「することが望まれます」を指します。的なアバウトな計画で、実際の活動結果の評価・検証はされず次の総合計画に移行し、実行計画が不明確で疑問を感じる。町民に活動の見える化を行うべきと思うが。また、道の駅など集客人口と移住定住

の関係には必ずしも高い相関関係のないことは過去に確認されているが。
町長 総合計画における実行計画以下の業務結果を町民に対して見える化を検討していきたいと考えます。

質問 出生数は20年前までは年に70〜80人、直近の4年間は20数人。32年までの後期計画では特殊出生率を1.6以上（現状は1.0）を目指しているが政策は不明。他自治体の成功例を見ると職員の提案的な政策が多い。提案制度は職員のやる気や意識改革をももたらす。是非制度の導入をすべきだ。

副町長 特殊出生率については、結婚支援、子育て支援、母子保健支援等を考えております。職員の提案制度については、ご指摘の点を踏まえた中で出来ることに取り組みたいと思います。





～広域ごみ処理施設建設へ一歩前進～

安房広域事務組合の

規約変更を承認可決

10月2日、会期を1日間として第5回鋸南町議会臨時会を開催した。町からは安房郡市広域市町村圏事務組合の規約変更に関する協議が上程された。また併せて衆議院議員選挙実施に伴う選挙費936万8千円の補正についても審議、全員賛成で両案を可決した。

なぜ規約変更が必要なのか？

これまでの経緯

鋸南、館山、鴨川、南房総の3市1町では、各市町のごみ処理施設の老朽化に伴い、平成10年から3市1町による、広域ごみ処理施設建設計画を安房郡市広域市町村圏事務組合（以下、安房広域）の事業として進めてきました。

昨年、建設予定であった南房総市大貫地区での用地取得が不可能となり、事業が白紙に戻ったことを機に、平成

28年10月、館山市は、財政上の理由から既設ごみ処理施設を大規模改修し、市単独処理を継続するとし、広域ごみ処理事業からの離脱を表明しました。

平成29年3月、館山市を除く2市1町は、館山市の離脱を認め、2市1町で事業を継続できるよう安房広域の規約改正に着手しましたが、広域ごみ処理事業自体を安房広域の事業から削除し、2市1町は独自の事務組合を設立すべきと主張する館山市と安房広域内で複合的組合での事業推進を目指す2市1町間で話は平行線をたどっていました。

一年越しに合意決着

建設用地の取得、所要手続きの完了まで2市1町は、安房広域内に留まり、複合的事務組合の形式をとり、館山市は事業に関与しないとの内容で、9月中旬、両者は合意に達しました。

安房広域の規約の改正に

は、構成市町議会での議決を得たうえで、千葉県が許可が必要のため、館山市は9月27日、鴨川、南房総両市は、翌28日に、定例議会に改正案を追加上程し、可決しました。これにより、9月定例会を終えていた当議会の議決待ちとなったことから、急ぎよ臨時会での審査議決となりました。

今後の事業予定

2市1町で事業を推進する場合に、今後予想されるスケジュールは、平成29年度中に施設計画概要を整理、平成30年度に、第1次、第2次、第3次選定を行い、候補地の抽出と総合評価を行います。平成31・32年度には、地域住民説明会を開催し合意形成を図るとともに、土地の売買に係る協議や手続き、並行して測量・地質調査、生活環境影響調査等の各種手続きを行い、この時点で館山市は事業から離脱することになります。

安房広域ってなに？

地方自治法で規定された一部事務組合で、正式名は、安房郡市広域市町村圏事務組合。

複数の普通地方公共団体が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織。現在、9項目の共同処理事務があり、火葬場の運営、消防・救急業務などが代表的な事務。平成28年度の予算額は37億9,648万円余りで、予算の約4分の3は構成

市町からの負担金で占められ、館山市10億3,846万円、南房総市8億7,425万円、鴨川市7億1,792万円、鋸南町2億921万円（平成29年3月末）をそれぞれ負担している。

今回の規約変更は、事務の1つである「ごみ処理施設及び中継施設の建設」に関して、将来的に館山市を除く2市1町で実施できるよう変更を加えたもの。

ちづくりを

査特別委員会報告～

平成28年度の各会計決算は、議員選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（三國幸次委員長）を設置し、審査した。一般会計については、歳入総額は43億2千199万2千円で前年度比9・8%の減で、歳出総額は41億4千147万3千円で前年度比7・7%の減となった。町税徴収率は94・13%となり、前年度より1・02%の増となった。また、特別会計、企業会計についても審査の後、採決を行った結果、平成28年度決算については全員賛成で原案のとおり認定した。

主な事業としては、学童保育所建設事業5千974万6千円、行政ネットワーク等改修業務委託及び機器購入費5千300万4千円、農産物加工所整備事業3千510万円、町道3015線道路改良3千234万9千円など。

一般会計決算の

主な質疑

総務企画課関係

質問 地方創生加速化交付金事業の体験プログラム構築等委託の内容は。

企画財政室長 体験プログラム、ホームページ構築、PR媒体作成業務を委託しており、地域おこし協力隊と共に体験事業等を実施、PRをする予定です。

質問 貸付金を支出している鋸南町雇用創造協議会の活動実績は。

企画財政室長

同協議会のセミナーは、計画では40社、101人のところ、70社163人の参加を得ており、達成率は161%となっています。また、町内の就職者は、計画では54人のところ、55人の実績となりました。

質問 南房総広域水道企業団では、建設事業が終わり、徐々に維持管理費がかさんでくると思われるが、今後の見通しは。

企画財政室長 県で広域化の検討に入っているところで、今後の状況については、十分注視して対応したいと考えます。

質問 旧佐久間小学校の校

舎棟の屋根の修繕費が支出されているが、今後の修繕計画は。

総務管理室長 屋根の修繕については、年次計画により、あと2年を要する予定です。

質問 ふるさと納税について、寄付金の内訳は。

企画財政室長 1万円までが4件、1万円から3万円までが666件で全体の9割弱を占め、3万円から5万円までが21件、5万円から10万円までが4件、10万円以上の高額寄付が47件となっています。10万円以上の寄付に対する返礼品を、平成28年度から新たに設

定しました。

保健福祉課関係

質問 がん検診におけるがんの発見率は、県平均と比べてどうか。

保健福祉課長 平成28年度の県内の比較データはありませんが、平成26年度の要精検率で比較すると、胃がん検診は県内トップで、他のがんについても県平均値を若干上回る結果でした。



一番人気のびわ（ふるさと納税返礼品）

～平成28年度決算審

地域振興課関係

質問 青年就農給付金の受給者3名の現在の営農状況はどうか。

農林水産振興室長 営農状況は順調のようですが、営農に不安を抱えているのも事実であり、引き続き交付金とともに人的バックアップにより、支援したいと考えています。

質問 道の駅保田小学校の修繕料213万8千円の使途は何か。

まちづくり推進室長 利用客の安全のための補修や利便性向上のための機能整備や施設不具合箇所の修繕など計11箇所の修繕を行いました。

要望 道の駅の取り組みについて、道の駅きよなんと保田小学校との間では差が大きいので、バランスのとれた取り組みを要望する。

質問 農地災害が適用となる雨量の基準は。

農林水産振興室長 1時間

あたり20ミリ以上、又は24時間で80ミリ以上の降雨により被災した場合に、耕作されている農地に限り適用となります。

要望 災害の適用を受けられず放置される場合も多いため、町単独による支援等、農家の立場に立った災害適用を望む。

教育課関係

質問 幼稚園移設後の土地についてどのように考えているか。

副町長 長年の懸案でもあり、施設の活用も含め検討しています。用地取得については、一般財源での一括購入を前向きに検討しています。

質問 放課後学習講師の賃金の内容は。

教育総務室長 8月から11月の間、受験対策及び学力向上を目的として国語・数学・英語の学習講師をお願いしており、1日2時間の指導を行っています。

一般会計決算状況

項目	平成28年度	平成27年度
歳入総額	43億2,199万1,587円	47億8,984万6,682円
歳出総額	41億4,147万3,206円	44億8,580万8,028円
差引	1億8,051万8,381円	3億403万8,654円

特別会計及び企業会計決算状況

会計名	収入	支出
国民健康保険特別会計	15億9,472万8,313円	14億5,485万825円
後期高齢者医療特別会計	1億1,864万1,670円	1億1,604万9,200円
介護保険特別会計	12億8,446万7,505円	12億4,686万5,748円
病院事業会計（収益的収支）	5,492万9,192円	8,821万9,382円
水道事業会計（収益的収支）	5億3,606万1,013円	4億6,022万6,748円

議会活動トピックス

千葉県町村議会議員研修会



8月2日、人口減少社会における地域活性化等をテーマに千葉市内で開催された千葉県町村議会議員研修会へ参加。

産業常任委員会協議会



8月18日、産業常任委員会協議会を開催し、28年度決算審査にむけて有害鳥獣の被害状況や道路改良工事などの現地視察を行った。

鋸南町総合防災訓練



10月1日、鋸南町総合防災訓練が行われ、議長と消防委員長が災害対策本部として訓練に参加。

「町民の声」募集！

町民の皆様のご意見・ご要望
「こんな町づくりに期待しています！」を募集します。
投稿をお待ちしています。
議会事務局までご連絡を。

議会の日誌

8月2日 県町村議会議員研修会
8月18日 産業常任委員会協議会
8月22日 議員全員協議会
8月29日 議会運営委員会
9月4日～15日 第4回議会定例会

9月8日 決算審査特別委員会
9月22日 広報特別委員会
9月29日 議会運営委員会
10月2日 第5回議会臨時会
10月2日 広報特別委員会協議会

編集後記

私が何度か一般質問させてもらった買い物弱者対策ですが、このほど大手コンビニエンスストアが、10月から移動販売車で週4日営業を開始してくれることになりました。今後の運営に期待したいと思います。

さて、今回の「議会だより」から改善を試みていることがあります。一つは議会だよりの2ヶ月後の発行を翌月の発行とし、皆様の家庭に少しでも早く情報を届けたいと思います。

もう一つは本紙にその内容を掲載しましたが、町民の声として「こんなまちづくりに期待しています」の様なご意見、ご要望を募集する企画を考えました。皆さんのご意見、ご要望が実現できるように一緒に努力をしたいと思います。

緒方